

土佐さきがけプログラム アドミッション・ポリシー

土佐さきがけプログラムは、「現代社会が抱えるさまざまな課題に取り組むうえで必要となる幅広い知識や技術などの基礎力を、領域横断的に身につけ、それらを組み合わせて物事を考え課題を解決する応用力を育成することを通じて、地域社会の課題から国際問題、環境問題などの解決に、グローバルな視点で積極的に貢献できる人材」を養成します。

■グリーンサイエンス人材育成コース

グリーンサイエンス人材育成コースは、以下の人材を養成します。

1. 次世代の科学技術産業育成に向けて、グリーンサイエンス研究・技術分野において、化学を基盤として、境界領域・関連領域に精通し、国際的に通用する高度専門職業人や研究者。
2. 環境に配慮した技術開発・学際研究（グリーンサイエンス研究）を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材。
3. 具体的には、環境・資源などの諸問題解決に向け、化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけるとともに、少人数による多くの研究実験を通じて、化学者としての技量を高め、社会に大きく貢献できる人材。

本コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 化学を専門的に学ぶに先立ち、高等学校等で履修する化学はもちろんのこと、数学・英語などの基礎的事項を理解している。
2. 自ら手足を動かすことが苦にならず化学実験が得意である。

思考力・判断力・表現力

1. 自然現象や身近に生ずる物質の変化を、科学的かつ理論的に解釈しようとする。
2. 自分の考えをわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 地球環境を取り巻く諸問題を科学的にとらえて主体的に解決する意欲がある。
2. 人類の発展のために自ら積極的に化学を学ぶ意志がある。
3. 探究心旺盛な者。
4. 教科外活動などを通して、協調性、責任感等に関し、自らを観察した経験を有する。

■国際人材育成コース

国際人材育成コースは、「英語・中国語・日本語などを駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材」を養成します。

本コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 言語を学ぶにあたって基本となる国語・英語等の科目で、聞く・話す・読む・書くという4技能にバランスよく秀でている。
2. 個人の適性や志望分野にあわせた社会科等の科目を履修し、それらの基礎知識を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的に捉え、判断する能力を有する。
2. 社会の事象に関心があり、自らの価値基準で判断できる。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 国内外の社会情勢に関心を持ち、人間や社会・文化に対する問題意識や探求心を持つ。
2. 世界の人々と英語やその他の外国語でコミュニケーションを取ることに関心がある。
3. 授業等におけるグループワークやディスカッション等に秀でている。

関心・意欲

1. 英語・中国語・日本語等の語学に関心がある。
2. 自文化と異文化をともに理解する意欲があり、平和な人類の未来を創造することに関心がある。
3. 組織で何かをやり遂げた経験があり、リーダーやメンバーの役割に関心がある。
4. 地域や国際的な課題に関心があり、自らも何らかの貢献をした経験がある。
5. 上記の資質を活かし国際的に活躍する意思がある。

■生命・環境人材育成コース

生命・環境人材育成コースは、「人間を含む地球上のすべての生物にとって健全な生存環境を構築するために、生物の生命活動とそれを支える環境に関連する諸科学を領域横断的に教育し、生命を育み、護り、次の世代へ繋ぐために必要となるさまざまな課題を俯瞰し、解決策を提案し、それを遂行していくことのできる人材」を養成します。

本コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 生物の生命活動とそれを支える環境に関連する諸科学の専門的知識を修得するために必要となる高等学校の教科学習、特に理科と社会に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 理科と社会に関する基礎的知識をもとに、生物の生命活動とそれを支える環境について発展的に考察できる。
2. 理科と社会に関する基礎的知識をもとに、生物の生命活動とそれを支える環境について分析し、考察した自己の考えを的確に伝えることができる。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 生命とそれを育む環境並びにこれらに関連する諸科学に関する知識と研究成果を、多様な人々と主体的に協働し、地域社会の活性化に結び付けることに興味がある。

関心・意欲

1. 日常生活を通じてさまざまなことに興味を持ち、自ら調査、観察、学習した経験や意欲がある。

■スポーツ人材育成コース（副専攻）

スポーツ人材育成コースは、「所属する学部・学科の専門分野の学習に積極的に取り組むと共に、スポーツ科学における専門知識を論理的に理解し、競技力及び指導力の向上のために主体的に取り組むことができる人材」を養成します。さらに、「修得した専門知識を実践的に用いて、地域社会に広く協働的に貢献できる人材」を養成します。

本コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 人間の心身のメカニズムとスポーツ活動についての基礎的知識を有する。
2. 科学的な理論に基づく合理的な実践を通して技能（競技力）を高めると共に、得られた成果を論理的に分析し、スポーツ指導に活用することができる。

思考力・判断力・表現力

1. 専門実技の競技力向上及び指導力を高めるために各種スポーツ科学を学び、その知識をスポーツ場面に活用する志向がある。
2. 自己の技術や課題について、文章や図表を用いて説明するために努力できる。
3. スポーツ指導場面で、相手に理論を具体的でわかりやすく指導する必要性を認識している。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 自己に不足している能力を分析し、その獲得に向けて意欲的に学習できる。
2. パフォーマンスを高めるためのトレーニング計画及び指導計画の作成に意欲的である。
3. 競技に関わるさまざまな役割の人々や他種目の競技者に関心をもち、その専門性と多様性を理解しながら協働的にスポーツにかかわろうとする。

関心・意欲

1. 競技力向上及び指導力を高めるためのスポーツ科学専門知識を学び理解しようとする意欲がある。